

令和2年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

福岡県

行事名称	旧戸島家住宅消防設備点検（第67回文化財防火デー）
実施期間・日時	令和3年2月2日（火）
実施場所	福岡県指定有形文化財建造物 旧戸島家住宅（福岡県柳川市鬼童町）
主催者	柳川市生涯学習課、柳川市消防本部

■実施内容

訓練の想定

出火場所を戸島家住宅内の管理室と想定し、火災時の避難経路と消防設備が適切に使用できるか確認した。

訓練の内容

令和3年1月13日に福岡県が緊急事態宣言の対象区域に追加されたため、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため大人数の参加が前提となる訓練を休止し、代替措置として柳川市が管理する文化財建造物の旧戸島家住宅において市消防本部による消防用設備等の立入検査を実施した。検査では災害時の避難誘導経路の確認や消防用設備の設置状況確認などが行われ、放水銃の動作確認も実施した。

参加者及び役割分担

柳川市生涯学習課（2名）：所有者・管理者、防火運動に関する市民への周知

柳川市消防本部（2名）：立ち合い、指導

消防設備業者（3名）：設備点検

特に工夫した点

毎年通常地元消防団と共同で消防訓練を実施していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、文化財防火デーの概要と消防設備点検の実施状況について柳川市ホームページにより周知を図った。

問題点・課題

点検の結果、防災設備の老朽化が確認されたため、今後計画的な防災設備の更新が必要である。

その他

柳川市では文化財防火デーに合わせて、文化財保護と防災に対する意識の高揚を目的に、毎年文化財火災を想定した消防訓練を実施している。新型コロナウイルスが収束以降、継続して訓練を実施する予定である。

訓練風景



写真 旧戸島家住宅消防設備（放水銃）動作確認作業風景